

第6回 SJAC講演会を開催

－JST/JAXAの研究プログラム－

(一社)日本航空宇宙工業会(SJAC)は、さる3月7日(月)13時より、SJACにて平成27年度第6回SJAC講演会を開催した。

国立研究開発法人 科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)技術主幹(統括)竹村誠洋氏からSIPの活動を講演して頂き、併せて国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)航空技術部門事業推進部 航空産業協力課長 内富素子氏よりJAXA航空本部公募型研究の平成28年度方針を講演して頂いた。

当日は約30人の参加者に2つの講演を続けて受講して頂いた。

竹村氏はJFEスチールおよび国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)で材料工学、ナノテクノロジーの研究および企画に従事された後、平成26年から国立研究開発法人 科学技術振興機構で戦略的イノベーション創造プログラム技術主幹に就任して今日に至っている。

内富氏は、旧宇宙開発事業団入社後、企画室、外務省国際協力室出向、宇宙環境利用推進部、産学官連携部における新事業促進、国際部における欧米露との宇宙協力を担当され、平成24年にJAXA法務課長、平成27年から航空産業協力課長に就任して今日に至っている。

前半の竹村氏の講演では、SIPの目標および概要と、課題のひとつである革新的構造材料の個別研究テーマがいくつか紹介された。後半の内富氏の講演では、「JAXA航空本部公募型研究」の平成28年度方針の概略と企業からより多くの革新的提案をいただくために平成28年度に実施する「JAXA航空技術イノベー

ションチャレンジ」について紹介された。講演の要旨は以下の通りである。

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

平成25年6月に閣議決定された『科学技術イノベーション総合戦略』と『日本再興戦略』を受けて、総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能強化策の具体化が図られた。3つの強化策のひとつが『SIP』である。総合科学技術・イノベーション会議が自ら予算配分して、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据え、規制・制度改革を含めた取り



講師：竹村誠洋氏

組みを推進している。11課題のうちの一つが『革新的構造材料』であり、岸輝雄 東京大学名誉教授をプログラム・ディレクターとして、「航空機用樹脂の開発とFRPの開発」、「耐熱合金・金属間化合物の開発」、「耐環境性セラミックスコーティングの開発」、「マテリアルズ・インテグレーション」を研究開発項目として、産官学72機関が参画した38件の研究を5年計画（平成26年～30年）で推進している。

JAXA航空部門技術の平成28年度公募方針

JAXA航空技術部門公募型研究は、JAXA並びに我が国の研究開発力強化とイノベーション研究の推進のために、産業界、学界のそれぞれが有する知見、アプローチ手法等を公募により集約し、JAXAと共同にて課題解決を図り、将来的に企業に技術移転を行い、産業に貢献することを目的としている。今後は企業から多くの応募を頂くため、契約形態の選択や守秘等に関する改善を行い、6月頃から公募を開始する予定である。また27年4月に開始した航空イノベーションハブでの技術・知見・人材を糾合した研究開発の芽だしを念

頭におき、研究テーマを制約せずに様々な業種から、10年後に世界をリードできる革新的な技術やアイデアを幅広く募り、JAXAとともに実現を目指す「JAXA航空技術イノベーションチャレンジ」という新制度の公募も5月頃に予定している。JAXA航空技術部門では、産業界のニーズに一層対応した研究開発を行っていく方針であり、企業の研究開発ニーズ調査や、若手をはじめとする企業との交流の促進等についてSJACと連携したいとの期待も表明された。



講師：内富素子氏



講演会会場の状況

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部長 松田 隆〕